

【人権全般】

貸出No.	題名	ジャンル	制作年度 再生時間	内容	副読本
新 297	自分ごとSDGs	SDGs	R04年 (2022年) 22分	持続可能な環境・社会・経済を実現するために掲げられた「SDGs」。SDGsと聞くと企業や団体が取り組むべき目標と考えていませんか？SDGsは一人一人の意識と行動が大切です。この教材では、2人の姉弟と一緒に、SDGsに取り組んでいる人たちのインタビューを見て、身の回りにある身近なものからSDGsについての考えを深めていきます。SDGsの基礎知識を学ぶだけでなく、SDGsを自分ごととして捉え、行動していくきっかけとなる教材です。	
新 296	うしわかまるの自分らしく生きること	LGBT (アニメーション教材)	R04年 (2022年) 10分	お花が大好きなカー太郎は忠吉にからかわれて、「男なのに花が好きなんて、僕は変なのかな」と悩みます。井戸に落ちた中吉を助けるため、うしわかまるたちはカー太郎の機転で縄を作り、中吉を助けます。カー太郎たちは野に咲くさまざまな花のように、人もみんな違っていていいんだと気がつきます。	
新 295	性の多様性とLGBTQ+ ～誰もが自分らしく生きるために～	LGBT	R04年 (2022年) 28分	「性のあり方」はとても多様で、すべての人々に関わりがあるものです。本作品は、「性のあり方」についての基礎知識をわかりやすく解説しながら、典型的でないといわれる性のあり方の人たちへのインタビューを通して、性には様々な形があることや、性的マイノリティを取り巻く実状についても伝えます。性のあり方について理解を深めることで、多様性を尊重した誰もが過ごしやすい社会について考えていくことができる教材です。	
新 291	スマイリーキクチと考えるインターネットの正しい使い方	SNS	R03年 (2021年) 16分	ネット上の誹謗中傷が大きな社会問題になっています。小学生でもネット環境を使うことが日常となっている今、小学生のうちから、インターネットの特徴や誹謗中傷の実態を学ぶことは、たいへん重要なことになります。この教材は、実際に誹謗中傷の被害にあい、現在も被害を受け続けているスマイリーキクチさんの例をもとに解説されている教材です。	
新 290	パースデイ	LGBT	R04年 (2022年) 37分	性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きていける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマです。	●
287	シェアしてみたらわかったと	人権全般	R01年 (2019年) 46分	シェアハウスにやってきた主人公と住人たちの交流を通して、外国人に関する人権、性自認や性的指向に関する人権、外から見えにくい障害のある人の人権、災害時の人権について、自分の日常の問題として考える機会となるような教材です。	
286	小学生のためのケータイ・ネット教室 ～こんなトラブルに気を付けて～	SNS	H24年 (2012年) 30分	携帯電話を利用してネットのトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、これから携帯電話やインターネットを利用する子どもたち、特に小学校中・高学年を対象に、安全で正しいケータイ・ネットの使い方を解説した教材です。	
285	本当はむずかしいネットの動画 ～動画投稿や配信に潜む危険～	SNS	R02年 (2020年) 15分	動画の投稿や配信が簡単にできてしまう環境から、それに依存しがちなネットテラシーの低い子どもたちに、挿入の投稿や配信がさまざまな危険を招くかもしれないことを知っていただける教材です。	
284	私たち一人ひとりができること ～当事者意識をもって考えるコロナ差別～	コロナ差別	R03年 (2021年) 26分	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染した方への誹謗・中傷や、「コロナ差別」が問題となっており、コロナ差別解消に向けた様々な取り組みがおこなわれています。「コロナ差別」の特徴と、差別や偏見がなぜ生まれるのか、そしてどのように向き合っていけば良いのかを学べる、ドラマ形式の人権啓発教材です。	
283	君が笑っていた -ソーシャルディスタンスの罠-	コロナ差別	R03年 (2021年) 23分	新型コロナ感染は、感染者、その家族や、病院関係者への誹謗・差別を生み出しました。単身・シングルマザー世帯などすでに経済的に逼迫していた人々に加え、学生・一般世帯の人々をも厳しい生活状況へ追い込んでいます。急激に姿を変える社会の現実から、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品です。	
282	夕焼け	ヤングケアラー	R03年 (2021年) 35分	お互いを気にかけて、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。ケアは他人事ではありません。だれもがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性を問わず、共に助け合える『だれもが人権尊重される社会』の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマ作品です。	

貸出No.	題名	ジャンル	制作年度 再生時間	内容	副読本
279	「違い」を「力」にするために ～職場のコミュニケーション のヒント～	人権全般	R02年 (2020年) 26分	職場の多様性が進んでいるなか、コミュニケーションのあり方は、「職場の人権」を考える上でも、お互いの「違い」を理解するという段階から、「違い」をプラスにして、積極的に新しい価値に転換する時代になっています。この教材では、「違い」を新しく「力」にしていくために、どんなコミュニケーションのあり方でそれを実現していけるのか、事例をとりあげながら考えます。	
278	親愛なる、あなたへ	人権全般	H20年 (2008年) 37分	都市化や核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっている。地域の主人公はそこに暮らす人であるはずなのに、自らは「まちづくり」の主人公であることを忘れ、他人任せになっている。一人ひとりの「気づき」こそが、支え合う力が低下した地域の「再生」につながる。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることの大切さを語りかけてくる。	●
276	話せて良かった -家庭からふりかえる人権-	人権全般	R02年 (2020年) 27分	日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないのでしょうか。	
275	わたしと人権2	人権全般	R03年 (2021年) 26分	私たちの周りには、さまざまな人権問題があり、私たちは誰もが人権問題の加害者にも被害者にもなる可能性があります。人権問題に直面したとき、自分ならどうするか？さまざまな事例を通して考えてみましょう。	
274	わたしと人権1	人権全般	R03年 (2021年) 24分		
269	ハラスメントを生まない コミュニケーション グレーゾーン事例から考える	パワハラ セクハラ	H30年 (2018年) 25分	一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴はひそんでいます。普段の何気ない言動が、知らぬ間にハラスメントになっているかも知れません。様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていきます。	
268	わからないから、 確かめ合う -コミュニケーション-	パワハラ セクハラ	H30年 (2018年) 29分	昨今、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなど、企業が関わる様々な「人権問題」がメディア等で大きく取り上げられます。ハラスメントや差別的扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性の高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策を提示しています。	
266	岸本誠の目からウロコの LGBT基礎講座	LGBT	H29年 (2017年) 32分	2020年の東京オリンピックを控え、行政も企業も、最早、知らないでは済まされないうるLGBT問題。リアルな体験例を下に、基礎の基礎から現状、さらには「これから」を分かりやすく丁寧に解説しています。	
259	こんにちは金泰九さん ハンセン病問題から学んだ こと	ハンセン病	H27年 (2015年) 25分	金泰九さんの暮らす長島愛生園とハンセン病の歴史を描く。長い間ハンセン病に患者を苦しめた「らい予防法」についても、その悲しい歴史を紐解いていく。そして金さんの生い立ち、入所当時の思い、今、私たちに望むことなどを聞き出していく。	
258	風の舞	ハンセン病	H15年 (2003年) 60分	ハンセン病を発病し、13歳で国立療養所大島青松園に隔離収容された塔和子さんの極限の中から生まれた詩をモチーフに、多くの元患者さんたちの姿を重ね、ハンセン病強制隔離の「歴史と今」を検証するとともに、人間の尊厳について問うものです。	
255	10代のカミングアウト	LGBT	H28年 (2016年) 50分	英国の10代の5人が悩みながら自身の性を受け止めてカミングアウトし、その後の生活の変化を取材。5人自身が語る今の気持ちや差別された経験を告白する勇気ある姿を追う。	

貸出No.	題名	ジャンル	制作年度 再生時間	内容	副読本
254	トランスジェンダーの子どもたち	LGBT	H27年 (2015年) 60分	トランスジェンダーの人々は性自認に悩み、医者やカウンセラーは幼少期から当事者へのケアを始めている。積極的にセクシャルマイノリティ支援を行うカリフォルニア州のトランスジェンダーの子どもたちとその家族をBCCが取材。自らの性自認に向き合い行動する親子や医師の治療の取材から、真の性の自覚とその対応について考える。	
253	誰もがその人らしく -LGBT-	LGBT	H29年 (2017年) 20分	主人公の周りに居たけれども見えなかったLGBT(性的少数者)の人たちが見えてくるストーリーです。LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだまだ強く存在しているもなかなか見えない、その存在を見出しにくいのが現状です。この作品は、チャプターごとにドラマと振り返り、解説が展開していく形で構成されています。	
252	あした咲く	人権全般	H29年 (2017年) 36分	この作品には、生き方の異なる姉妹が登場します。独身会社員の妹・茜と、専業主婦の姉・翠。それぞれの立場ゆえの悩みや葛藤を抱えています。姉妹での対立や父との対話、そして、地域の人々とのふれあいを通して、別の視点や価値観に気づきます。自分で自分の生き方を選択し、全ての人が「自分の花」をイキイキと咲かすことのできる、多様性尊重社会の表現をめざすきっかけとなる人権啓発ドラマです。	●
251	LGBTを知ろう	LGBT	H28年 (2016年) 20分	LGBTの人たちを取り巻く現状を理解し、職場や教育現場でどのように具体的に取り組んでいけばよいのかをイラストやデータ、事例などを豊富に盛り込んで分かりやすく解説しています。	
250	ココロ屋 (アニメーション教材)	人権全般	H26年 (2014年) 25分	友だちを泣かせてしまい「ココロを入れかえなさい」と先生に叱られた小学3年生のひろき。教室をとびだし、長い廊下を走った末に、迷って入りこんでしまったのは「ココロ屋」=ウツロイ博士が作りだした、いろいろなココロが並んでいる店だった…。「ココロ」をテーマに、自分とは何かを考えさせる、道徳教材として好適のアニメーションです。	
249	光射す空へ (アニメーション教材)	人権全般	H28年 (2016年) 32分	大学生の朝陽の父が若年性認知症と診断されます。また朝陽にはトランスジェンダーの幼馴染との交流もあります。そんななか、担当教官の指導の下、新しく友人になった朝陽と優海は、同和問題について深く学びをすすめることになります。 本編32分 解説編「若年性認知症」4分 「同和問題」5分 「LGBT」5分	●
248	わかかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨロココ～	人権全般	H28年 (2016年) 35分	あなたには「心のよりどころ」がありますか？ 忙しい日常に追われて誰かと「心を交流する」ことをおろそかにしていませんか？町の路地にたたずむこの小さなカフェにはいろんな人が訪れ、駿と桜が出迎えます。ここは、ココロまじわるヨロココ。 【収録テーマ】 ・三色団子の向こう側(インターネットによる人権侵害)12分 ・世代をつなぐ柏餅(高齢者の人権)8分 ・コンペイトウの来た道(外国人の人権)12分	
243	人権は小さな気づきから	人権全般	H26年 (2014年) 34分	「こんな時、あなたはどうしますか？」身近な人権問題8項目を題材に、気づきを促すための教材です。地域社会や学校、職場での人権問題学習用教材としてご活用ください。	
238	シリーズ映像でみる人権の 歴史 第4巻 明治維新と賤民廃止令	人権全般	H27年 (2015年) 18分	このDVDでは最新の研究をもとに、明治政府が差別をなくすためだけでなく、地租改正により税を取る目的で賤民廃止令を出したこと、したがって壬申戸籍に差別的な記載をすることも政府自身が許可したことなどを、公文書をもとに丁寧に描きます。	
237	虹色のビー玉 ～“偏見”失いかけた家族の 絆～	人権全般	H23年 (2011年) 50分	ある家族の再生を描くことによって、身近に存在する偏見や差別に目を向け、人権への理解を深め、誰もが幸福に生きていく権利をもっていることを学んでいきます。	
236	ヒーロー	人権全般	H25年 (2013年) 34分	近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題になっています。「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感してもらうために、この「ドラマ」を制作しました。	●

貸出No.	題名	ジャンル	制作年度 再生時間	内容	副読本
234	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生 人権作品コンテスト～	人権全般	H26年 (2014年) 46分	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。	
233	性的マイノリティと人権 あなたがあなたらしく 生きるために	人権全般	H26年 (2014年) 30分	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。	
226	シリーズ映像でみる人権の 歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と 差別された人々	人権全般	H26年 (2014年) 15分	中世に始まったすべての身分が、居住地や税制、戸籍などで身分を固定され、江戸時代に「制度化」されたことを、分かりやすく解説し、積極的に新しい図式を提示しました。また、部落差別の学習を通して、「イジメ」の問題を考えることや、中学生以上版では、「非人」の存在を現代の「ホームレスの方々の人権」と関連させ発展的に学習できる工夫を加えています。	
225	シリーズ映像でみる人権の 歴史 第1巻 東山文化を支えた 「差別された人々」	人権全般	H26年 (2014年) 16分	人権を侵害されてきた人々について、私たちは「マイナス・イメージ」でとらえがちです。しかし銀閣寺や龍安寺の庭園などをつくったのは、実は「河原者」であったという歴史事実は、こうしたイメージをまったく逆転させました。「河原者は差別を受けていたにもかかわらず偉大な芸術家になった」という事実を、丁寧に描いた教材です。	
224	家庭の中の人権 カラフル	人権全般	H26年 (2014年) 31分	「子どもや周囲の人間に押し付けていた、自分の理想や価値観」「家庭も社会も十人十色。いろんな人がいて成り立つカラフルな人生とは？」「人権」を身近な問題として意識し、家族で話題にできるドラマ教材です。	
221	家庭の中の人権 生まれ来る子へ	人権全般	H25年 (2013年) 25分	周囲の人々の妊婦への対応、イクメン、親の介護、身元調査や、DVなど。一組の夫婦を通して、祖父母や親戚との関わりなどから見えてくる、家庭の中の人権に目を向けた作品。	
220	桃香の自由帳	人権全般	H23年 (2011年) 36分	日常生活でどの地域でも起こりうる出来事に光を当てた作品。何気ない言動が人のつながりを断ち切ったりしていないか、現代を生きる私たちが見失いつつある、人と人が寄り添い、共に生きる温かな世界とは何かについて語りかけます。	●
219	ヒューマン博士と 考えよう！ ～差別から人権の確立へ ～	人権全般	H17年 (2005年) 28分	日本の伝統的な芸能や文化が、差別された人びとの生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人びとの歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくれた偏見や差別の解消につなげることを目的とした作品。	●
213	虎ハ眠ラス ～在日朝鮮人ハンセン病 回復者・金泰丸～	人権全般	H23年 (2011年) 30分	在日とハンセン病の二重の差別を受けながらも、人権運動の先頭に立ち続けた金泰丸85歳。その苛烈な人生から我々が学ぶものとは？18歳の少女の目線で描かれた真実の歴史。文部科学省選定。	
212	人権のヒント 地域編 「思い込み」から 「思いやりへ」	人権全般	H22年 (2010年) 25分	結婚したら女は家庭に入るのが常識？障害のある人は何が何でも介護されるべき存在？同和問題や外国人差別など、根拠のない思い込みと決めつけはありませんか？普段の日常生活に潜む人権問題をテーマに自分のなかの人権意識を考えるきっかけをあたえる作品。	
211	職場の日常から考える パワーハラスメント	人権全般	H24年 (2012年) 28分	ある会社で起こる様々な出来事を一本のドラマで描き、多様化する「職場のパワーハラスメント」の問題に切り込んだ作品です。より働きやすい職場をつくるために、働く人がそれぞれの立場から、「職場のパワーハラスメント」をなくすためにどうすればいいのか、学んでいただける内容です。	

貸出No.	題名	ジャンル	制作年度 再生時間	内容	副読本
209	失われたいのちへ誓う 東日本大震災が教えたこと	人権全般	H23年 (2011年) 20分	この作品は、被災した人々、震災によって多くを失った人々の声を紹介しながら、私たちのいまを振り返り、震災後のこれからをどう生きるかを共に考える「いのちの教育」教材です。	
208	あなたの偏見、わたしの差別 ～人権にきづく旅～	人権全般	H24年 (2012年) 30分	本作では人権問題に興味をもつ若者たち4人に集まってもらいました。彼らが気づき、体験し、感じたことは、まさに人権に向き合うための旅とも言えます。4人の中で深まっていく議論とそれぞれの意見は、人権問題を考えるための確かな手がかりになるはずです。	
207	ほんとの空	人権全般	H24年 (2012年) 36分	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、多くの人権課題に共通する部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。他者の気持ちを我がこととして思うこと。すべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげてもらうため、作成しました。	●
206	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～	人権全般	H24年 (2012年) 19分	母親が清掃員として働くことを恥ずかしく思い、家族に反抗し小学校を休んでしまった主人公。姉に無理やり母の仕事場に連れて行かれ、凛として掃除を続ける母の姿を見た主人公は、自分の心が差別意識を生み出すのだと気づく。	
205	人権を行動する ～その時あなたは どうしますか？～	人権全般	H19年 (2007年) 25分	このビデオでは[セクシャル・ハラスメント][個人情報の保護][部落差別]の三つのケースを設定して、その時、自分なりにどのように行動できるか、そしてその理由を考える中で人権をいかに行動につなげていくかを考えていきます。	
202	夕映えのみち	人権全般	H19年 (2007年) 38分	インターネット社会で、私たちは「どう生きるか」「人とどう関わるか」「社会とどうつながるか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さを見つめ直していただくために、このドラマを制作しました。	●
195	え？これも人権？ —4コマ劇場より—	人権全般	H20年 (2008年) 30分	この作品は日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コマ・マンガと実写でわかりやすく構成されています。	●
194	防ごう！ パワーハラスメント	人権全般	H18年 (2006年) 20分	人間関係のもつれから陰湿ないじめへと発展するケースとして、最近注目を集めているのが、パワー・ハラスメントです。そもそもパワハラとは何か、パワハラを防ぐにはどうすればいいのかを考えます。	
193	人権の扉をひらく 気づいていますか？身近な人 権	人権全般	H16年 (2004年) 25分	このビデオは、ミニドラマとナレーションで構成しています。人権を身近に感じてもらうために、生活の中で出会う幅広い人権のテーマを取り上げています。	
192	心のメガネ 曇ってませんか？	人権全般	H12年 (2000年) 20分	このビデオは、日常の生活の中にみられるいくつかの事例を紹介して、思い込みや偏見がどうして形成されていくのか、どうすればそれを無くしていきけるのかを考えてもらうために製作したものです。	●
188	いのち	人権全般	H10年 (1998年) 20分	事故によって親友を失った少女の悲しみを通じて、「いのち」の尊さ、「生きること」の重さを訴えるとともに、人は自らが社会を構成する一員であり、多くの繋がりによって存在しているという事実気づかせることを狙いとします。	

貸出No.	題名	ジャンル	制作年度 再生時間	内容	副読本
187	インターネットと人権	人権全般	H22年 (2010年) 22分	インターネットは便利な存在だが、使い方を誤ったり悪意が無くても、人を傷つける「凶器」になりえます。	
186	日常の人権Ⅱ ～気づきから行動へ～	人権全般	H21年 (2009年) 23分	日常生活の中に潜む様々な人権問題を取り上げています。人権について、さまざまな角度から考えることができる作品です。「外国人の人権」、「障がい者の人権」、「部落差別」、「インターネットでの人権侵害」がこの巻のテーマです。	
185	日常の人権Ⅰ ～気づきから行動へ～	人権全般	H21年 (2009年) 23分	日常生活の中に潜む様々な人権問題を取り上げています。人権について、さまざまな角度から考えることができる作品です。「女性の人権」、「子どもの人権」、「高齢者の人権」がこの巻のテーマです。	
173	クレヨン の星 (アニメーション教材)	人権全般	H3年 (1991年) 14分	これは、大阪市教育委員会が発行した人権啓発絵本「クレヨンの星」をアニメーション映画化したものです。大人と子どもが一緒に見て人権について話し合うきっかけになれば。	